

## 行政報告

町長 上村 清隆



8月までのアルプの里や共同浴場などの主要観光施設の入込み状況は、対前年比で103・48%となっており、震災前年比（平成22入込数・26万3900人）では99・28%となりました。今年で第15回目を迎えるフジロックフェスティバルは、7月26日から28日の3日間開催されました。入場者数は11万5000人で、対前年比82%と大幅な減少となり大変残念でしたが、

無事フェスティバルが終了できたことは喜ばしい限りであります。

湯沢高原は、24年度より湯沢高原施設の整備事業を進めておりますが、今年度はロープウェイの客車デザイン全面改装や冬期以外でも乗れるリフトとしてサマーボブスレー乗り場とアルプの里入口を結ぶ「やまびこリフト」の改修等が終了したことから、7月20日に関係者から出席いただいて湯沢高原のリニューアルのグラントオープンとして視察会を含めた式典を開催いたしました。

「やまびこリフト」の稼働により、湯沢高原の周遊性が高められたことで魅力アップが図られ大変好評とのことでした。

統合文教施設整備につきましては、平成26年4月より旧中学校の一部施設等を活用し新校舎での開校となるよう準備を進め

ています。子どもたちが安全安心に学園生活がおくれるよう細心の注意を払い、安全第一で残る工事を進めていく所存です。

三俣地域振興関係では、道の駅「みつまた」のオープンに向け、建築関連工事及び外構工事を施工中です。並行して管理・運営について国土交通省との協議や指定管理者決定の手続きを進めております。

7月5日には老人クラブ連合会、社会福祉協議会との共催で高齢者大運動会が開催され、324名の参加者から元気はつらつ和気あいあいと競技を楽しんでいただきました。

災害時の緊急情報伝達手段のひとつとして、「FMゆきぐに」を介して避難勧告や避難指示等の緊急情報等を割り込み放送ができる「緊急警報ラジオ」の配布を8月より開始しました。今年度は消防団や町内会等に約500台の配布を予定しています。また、現在「FMゆきぐに」の難聴地区である三国・三俣については対策調査を実施し、26年度に必要な対策を行った上で配布する予定です。なお、この「緊急警報ラジオ」は全戸に配布する計画で考えております。

いものであります。条例化することで町民の皆様のご意見を反映させることができます。

開かれた議会、信頼される議会への第1歩は「町民と議会の関係」「長と議会の関係」のルールを制度化することであり、申し合わせ事項の運用から議会基本条例への移行が必要であり、条例の制定作業自体が一定の議会改革効果を持ち、議会の在り方を問い直す要素もあり、形骸化したルールを見直し議会の活性化につながることも期待できます。

## 条例制定への今後の取り組み

湯沢町議会としての公式の委員会等は設置せず、現在の勉強会のメンバー6名に参加を希望する議員を加えて、「湯沢町議会基本条例研究会」を設置し条例制定に向けた研究を行います。

進行過程を議会だよりや広報ゆざわで町民の皆様へ報告し、条例制定過程における町民参画の手法をさぐることにします

まちづくり基本条例で定められた議会報告会についても、内容、方法等について、この研究会で検討し制度化することとなります。